

講義名	教養特講Ⅰ（観光学へのいざない）		
科目区分	教養特講		
担当教員	石橋 仁美／栗原 正憲／高田 宏／辻本 千春／山川 拓也／柏木 千春		
開講期・曜日・時限	前期 月曜日 4時限	授業形態	
	2020年度 人間社会学部 人間健康学科／2020年度 人間社会学部 観光学科／2020年度 人間社会学部 人間社会学科		
履修開始年次	1年生	単位数	2
備考			

<b>主題と概要</b> 本科目は「気づきのプログラム」を受講した学生に対して、以降の専門科目学修への誘いを意図したものであり、次のステップへのスタートラインに位置するものである。具体的な学修の到達目標は「観光学の学修意欲の醸成」や「好奇心の発露」とし、「観光活動そのもの」や「観光・イベントにおけるビジネス（旅行業、航空業、フライダル業、宿泊業、イベント業など）」に対する興味・関心を引き出すことに配慮する。
--

<b>到達目標</b> 観光分野やその周辺の事象、その背景にあるものに対する好奇心の発露が生じ、それらに対峙するための学修意欲をもつことができる。
--

<b>提出課題</b> 担当教員が講義内、講義後に提出課題を義務づけることがあります。
--

<b>課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバック</b> 講義初めに、課題を取り上げて解説を加える。レポート課題に対する個別のフィードバック手法については、オムニバス担当教員から講義初めに発表される。
---

<b>評価の基準</b> 各回の講義は、観光現場での経験豊富な観光学科教員を中心に、オムニバス形式で行う。各担当教員の評価を持ち寄って総合的に評価する。提出課題（提出状況と出来栄）で評価する。講義回数15回の内、10回分以上の課題提出を行う必要がある。もしも、10回分の課題提出がない場合は、欠席扱いとなり、単位を認定できない。
---

<b>履修にあたっての注意・助言他</b> 課題学修型、オムニバス形式となっており、講義順が入れ替わることもありますので注意してください。初回の講義時に案内をします。
--

<b>教科書</b> ・使用しない。
-----------------------

<b>プリント資料及び参考文献</b> 各担当教員が用意します。講義で使用する資料等は、Ryuka Portalの講義連絡で確認をしてください。
---

<b>授業計画</b> 各回、事前事後合わせて4時間程度の自己学習を必要とする。各課題は、以下の通りである。 1. オリエンテーション(5月11日) 【予習】 関心のある観光に関する最近ニュースを使い考えを整理 【復習】 講義のまとめと考察 2. 宿泊事業①(5月18日) 【予習】 ホテル関連のニュースでの関心事の概要のまとめ 【復習】 レポート課題 3. 宿泊事業②(5月23日 土曜日) 【予習】 ホテル中検査を使った課題 【復習】 宿泊プランの企画 4. 旅行事業①(5月25日) 【予習】 旅行会社調査 【復習】 旅行業の基本構造課題の整理 5. 旅行事業②(6月1日) 【予習】 旅行商品企画入門ワーク 【復習】 講義のまとめ 6. 航空事業①(6月8日) 【予習】 交通機関の発達をもたらしたメリットとデメリットの整理 【復習】 航空の歴史を学び、30年後の交通機関の進化を想像したレポート作成 7. 航空事業②(6月15日) 【予習】 最新の交通機関に関する情報を収集し、その目的と戦略の考察 【復習】 航空ビジネス戦略が他の業界で応用されている事例を調査報告 8. 観光産業と観光事業(6月20日 土曜日) 【予習】 レポート課題 【復習】 観光サービスの諸特性を事例を使って説明 9. フライダル事業①(6月22日) 【予習】 結婚式の印象とタイプについての調査 【復習】 結婚式の意味、役割を整理 10. フライダル事業②(6月29日) 【予習】 今人気のある結婚式会場・スタイルに関する調査 【復習】 今後結婚式・披露宴の形式について 11. 観光政策①(7月6日) 【予習】 訪日外国人観光客が増えている理由 【復習】 日本の観光政策の変遷に関するまとめ 12. 観光政策②(7月13日) 【予習】 IRが大阪にできることについて意見のまとめ
--

<b>授業形態（アクティブ・ラーニング）</b> ア：PBL（課題解決型学習） イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態） ウ：ディスカッション、ディベート エ：グループワーク オ：プレゼンテーション カ：実習、フィールドワーク
---

<b>準備学修（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間</b> 各担当教員が毎回予習・復習のためのアドバイスをいたしますのでしたがってください。
--

<b>双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述</b>
-------------------------------

<b>実務経験の有無及び活用</b> 柏木 旅行会社勤務（団体旅行の営業・企画・添乗業務、地域観光コンサルティング業務） 実際の事例に基づく課題を提示することで、学習内容に対し関心をもってもらう。 高田 ホテル会社勤務（総支配人並びに主としてマーケティング関係）での経験と知見を活かし「ホテル業界の現況」「ホテルの仕事」についての授業を行う。ホテル商品を選び考える場とし、ホスピタリティ面に加え事業としてのホテルへの興味関心を醸成する。
<b>備考</b> 課題学修型講義で行います。小テストやレポート課題、配布資料などは、Ryuka Portal 講義連絡で確認をしてください。基本的に、各回の2日前までに投稿します。担当教員は、柏木 千春、石橋 仁美、栗原 正憲、高田 宏、辻本 千春、山川 拓也が担当いたします。